

前南進路だより

R8・第5号 6月2日発行



1、中間考査が終了して…

4日間の中間考査が終了しました。特に1年生は、高校生活における最初の定期考査でしたので、不安と緊張でいっぱいだったかもしれません。そして、3年生は、中間考査の最終日の午後と、次の日の30日(土)に進研共通テスト模試も行われ、忙しい日々が続きました。

6月は、インターハイ予選が行われ、今後は3年生に代わり2年生が部活動の中心となります。また、進路においても、27日(土)に全学年でベネッセ/進研記述模試が実施される他、1・2年生は次年度の文理選択・科目選択の予備調査も行われます。昨年度入試の振り返りを参考に、自分の進路を見つめ直す機会にしてほしいと思います。

(1) 2026年度共通テスト(本試験) 主な科目の平均点

※旺文社パスナビ参照

教科名	科目名・出題範囲	配点	受験者数	平均点		前年差
				2026年	2025年	
国語	【国語】	200	438,156	116.37	126.67	-10.30
地歴	【地理総合, 地理探究】	100	143,237	61.87	57.48	+4.39
	【歴史総合, 日本史探究】	100	124,431	62.29	56.99	+5.30
	【歴史総合, 世界史探究】	100	78,710	60.88	66.12	-5.24
公民	【公共, 倫理】	100	30,965	64.24	59.74	+4.50
	【公共, 政治・経済】	100	143,238	63.59	62.66	+0.93
数学①	【数学I, 数学A】	100	343,000	47.20	53.51	-6.31
数学②	【数学II, 数学B, 数学C】	100	317,586	54.52	51.56	+2.96
理科	【物理基礎】	50	18,486	34.68	24.78	+9.90
	【化学基礎】	50	89,094	28.58	27.00	+1.58
	【生物基礎】	50	114,187	36.46	31.39	+5.07
	【地学基礎】	50	48,438	28.17	34.49	-6.32
	【物理】	100	145,203	45.55	58.96	-13.41
	【化学】	100	181,584	56.86	45.34	+11.52
	【生物】	100	56,314	55.01	52.21	+2.80
外国語	【英語(リーディング)】	100	455,114	62.81	57.69	+5.12
	【英語(リスニング)】	100	453,425	54.65	61.31	-6.66
情報	【情報I】	100	305,202	56.59	69.26	-12.67

※前年差の ■ は5点以上アップ、■ は5点以上ダウン。

《平均点アップ》

歴史総合・日本史探究 +5.3点
 生物基礎 +5.07点
 物理基礎 +9.9点
 化学 +11.52点
 英語(R) +5.12点

《平均点がダウン》

国語 -10.30点
 歴史総合・世界史探究 -5.24点
 数学I・数学A -6.31点
 物理 -13.41点
 情報I -12.67点

※6教科1000点満点の最終平均点

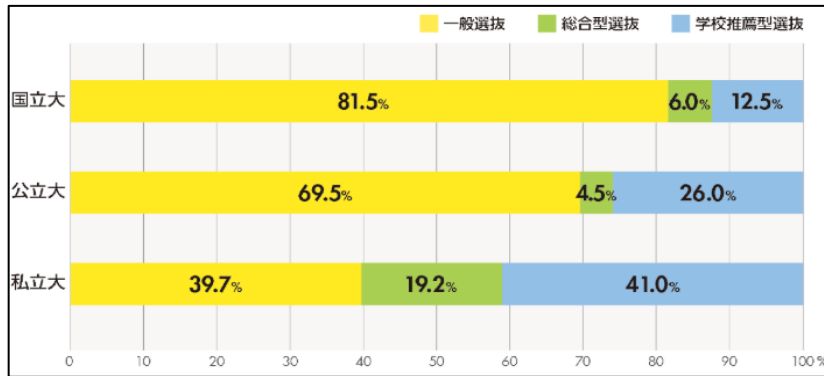
文系	596点 (昨年度-24点)
理系	603点 (昨年度-30点)

2026年度は、新学習指導要領にもとづく共通テスト2年目ということで、当初予想されていた通り、共通テストの平均点は下がりました(難化)。6教科1000点満点における平均点は、文系・理系ともに約30点下がりました(得点率約3%)。そのため、国公立大や私立大の共通テスト利用入試においては、2025年に比べて若干ボーダーラインが下がったことが推測されます。

さらに得点帯別に見ると、文系・理系とも前年と比べて700点以上(70%)の高得点者が減少し、特に理系は文系よりも減少幅が大きく、その一方で600点以下(60%未満)の得点者がかなり増えており、文系以上に難化しました。以上のことから、2027年度は共通テストの平均点が上がる?(易化)、難化・易化した教科における平均点の増減も予測されます。

(2) 一般選抜について ※旺文社パスナビ参照

①入学者数別 選抜方法



総合型選抜は「詳細な書類審査と時間をかけた丁寧な面接等を組み合わせる入試方法」と定められています。ただ、【受験の機会を得る】という観点で考えると、第1志望の大学を、探究の成果を活かして総合型選抜や学校推薦型選抜で受験にチャレンジすることは、受験戦略の1つでもあります。

②一般選抜の特徴

	国立大	公立大	私立大
出願条件	高校等卒業（卒業見込みを含む）		
選抜方法	主に学力検査、小論文・面接・実技検査等		
入試方式	原則、共通テスト + 2次(個別)試験の総合点で判定	前期日程・後期日程の分離分割方式 一部では中期日程・別日程も実施	・学部個別入試 ・全学部統一入試 ・共用利用、併用入試 ・外部検定利用入試 など
受験可能数	各日程で1校ずつ		受けられるだけ可能

受験と言えば「一般選抜」という認識がある受験生も多いはずですが、左図を見ても、国公立大をはじめとする難関大の多くが、募集人員の多くを一般選抜に割いています。これは、学校推薦型選抜は、「学部等募集単位ごとの入学定員の5割を超えない範囲」と文部科学省で定められており、

文部科学省の資料によると、一般選抜とは「学力検査、小論文・面接・実技検査等を主な資料としつつ、調査書、志願者本人の記載する資料等を組み合わせる入試方法」とされ、教科・科目に係る個別学力試験を課す場合、試験期日は2月1日～3月25日と定められています（これは学校推薦型・総合型選抜でも同様ですが、守られない場合もある）。

一般選抜が学力中心の選抜なのに対し、学校推薦型選抜は「出身高等学校長の推薦に基づき、調査書を主な資料として評価・判定」し、総合型選抜は「詳細な審査時間

と時間をかけた面接等を組み合わせる」入試方法とされています。そして、共通テストや小論文等を課す場合もあり、合格発表は課さない場合は12月上旬、課す場合は2月上旬に発表となります。昨年度入試より、群馬大学（医学部・保健学科【看護・検査技術・理学療法・作業療法】）における学校推薦型選抜は、共通テストが課されることとなりました。

総合型選抜の出願は9月1日から、学校推薦型選抜の出願は11月1日からとなります。例えば、学校推薦型選抜の受験日が11月下旬の場合、志望理由書等の必要書類は遅くとも10月中旬～下旬に準備をしなければなりません。さらに、小論文指導や面接指導の時間の確保するためには、9月中に志望理由書等を仕上げ、10月上旬から指導が開始できると、合格の可能性も高まります。開始が遅れば準備期間も短くなり、合格の可能性も低くなってしまいます。3年生は、探究の時間で「活動報告書」の作成をしていますので、前倒しで準備をしている状況であります。そして、夏休みを活用して、必要書類（活動報告書や志望理由書）や面接対策を行なうことで、余裕をもって本番に臨めるはずですが、また、志望理由書の作成や面接等の準備を行うのは、それだけ勉強するための時間や労力を削ることになり、一般選抜に向けた学習がおろそかになってしまうことが懸念されます。ただ、早めに計画を立てて、準備を進めることで、一般選抜に向けた学習も並行して行えるはずですが。

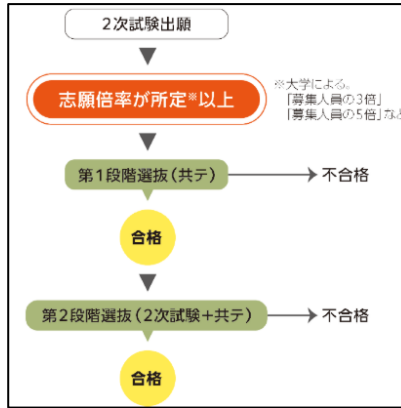
(3) 一般選抜（国公立大編）

※旺文社パスナビ参照

①基本情報

出願	
共テ	…9月中旬～10月上旬
2次試験	…1月下旬～2月上旬
試験	
共テ	…2027年1月16日・17日
2次試験	…2月下旬～3月中旬
合格発表	
3月中	

②2段階選抜



③複数合格の場合

例	
×	“複数合格”不可 前期日程と中期日程 前期日程と後期日程
○	“複数合格”可 中期日程と後期日程
※別日程は他日程の入学手続きの影響を受けずに受験・合格が可能な場合が多い	

- ・国公立大の受験は、基本的に共テの受験は必須となります。1次試験として共テ、2次試験として各大学が個別試験を課します。原則、1次試験（共テ）+ 2次（個別）試験の総合点で合否が判定されます。
- ・受けられる大学数は「3校+α」
2次（個別）試験は、前期日程（2月25日～）・後期日程（3月12日～）に分割する方式で実施されます（これを「分離分割方式」と言います）。また、公立大の中期日程（3月8日～）や独自日程（2月中旬～ 国際教養大・新潟県立大 他）を実施している大学もあるため、「前・中・後期の3校+独自日程」の大学を受験することが可能です（出願は、各日程で1校まで。最大4校まで）。
- ・「2段階選抜」とは
国公立大では、出願時点で所定の志願倍率（=志願者÷募集人員）を実施条件として、それを超える志願者が集まった場合、志願者を共テの成績で絞り込みます。最終的には、共テ+2次試験の総合点で合否を判定します。その前に、共テの成績だけで絞り込む仕組みを「2段階選抜」と言います。
- ・国公立大に前期日程で合格し、入学手続き（3月15日まで）を完了した場合、中期・後期日程の試験を受験しても合格にはなりません。前期日程分の入学手続きをしなければ、中期・後期日程の合格は可能です。ただ、中・後期の日程の合格発表は3月20日～24日となりますので、前期と中期日程／前期と後期日程といった、複数合格と進学先を選ぶということはできません。高崎経済大学（中期日程・経済、後期日程・地域政策）の複数合格の場合に、進学先を選ぶことは可能です。

(4) 一般選抜（私立大編）

※旺文社パスナビ参照

①基本情報

出願	
12月～3月	
試験	
1～3月	
合格発表	
1～3月	

②日本大—商学部の例（2026年度入試）

試験日	試験名	合格発表
1/17・18※	C 共通テスト利用方式1期 ●	2/13
1/17・18※	C 共通テスト利用方式2期 ●	3/13
2/1	N 全学統一方式1期 ●	2/13
2/5	A 個別方式1期 ●	2/13
2/20	A 個別方式2期 ●	3/2
3/4	N 全学統一方式2期 ●	3/13

※共通テスト受験日

- ・私立大の入試は、大学・学部によって異なります。②を例に、学部単位で募集する「学部別個別入試」が募集人員の多くを占める場合が大半だが、全学部（もしくは一部の学部）を一括で募集する「全学部統一入試」を行う大学があります。
- ・1つの学部を受験するにしても、複数の受験方式があります。募集人員や試験日程、受験科目数とその配点が方式ごとに異なります。

- ・学力を中心とした学科試験により合否判定を行い、個別試験は記述式問題の出題が少ない傾向にあります。
- ・②を例にして、入試方式を紹介します。
 - ①「共テ利用入試」… 共テが私立大の受験に代わる入試（共テの成績で、私大の合否が判定）
大学ごとの対策が不要、受験料が割安（無料もあり）
募集人員が少なめで、高倍率となることがある
「共テ」併用「入試」は、共テ+個別試験で合否を判定する方式
 - ②「全学部統一入試」… 大学単位で実施する入試（同日に、同一の試験問題、一斉に入試）
一度の試験で複数の学部に合わせて出願できる場合が多いが、併願不可の大学もある
 - ③「学部個別入試」… 大学単位ではなく、学部ごとに実施する入試（一般選抜の中で最大の募集人員が割り振られる）

 - ④「外部検定利用入試」… 英検などの資格やスコアを使って受験できる制度
大学が基準とする級位やスコアを出願資格とするもの、特定の教科の試験免除や得点に換算するもの、試験の得点に加点するもの
取得日を制限（入試日から2年前まで等）している場合もあり
 - ⑤「試験日自由選択制」… 複数日程の中から試験日を選べる制度
同様の条件の入試が何日もあり、受験生が試験日を選べる
併願校の試験日が連続・重複することを避けられる
志望度の高い大学なら、複数日程受験しても…
 - ⑥「学内併願割引」… 受験料の割引制度
複数の学部を併願、同じ学部を別の方式で複数受験する場合、受験料が割引
 - ⑦「学外試験場」… 遠方の大学を地元等で受験できる制度
学外試験場なら移動や宿泊の手間・時間・費用を減らせる